

夏ノ十裏

に帰り来りてみればそのいにしへなれし
すみかもことやうになりていつくを宿とさ
ため誰へたれを友へともとむつぶへしともおほえ
であゆみすにぬしなくなりたりし
泉へいつみをつたへてゐたりし人のもとに
まかりていづみにむかひてふるきを思ふ
といふことをよみ侍りしに
すむ人の心くまるゝいづみかな
むかしをいかに思ひいづらん